

## 安足地区社会教育主事有資格者・地域連携教員の活動事例

地域とともにある学校づくり  
学校を核とした地域づくりに向けて



社会教育主事有資格者・  
地域連携教員は・・・

令和元年度の  
活動事例を紹介！

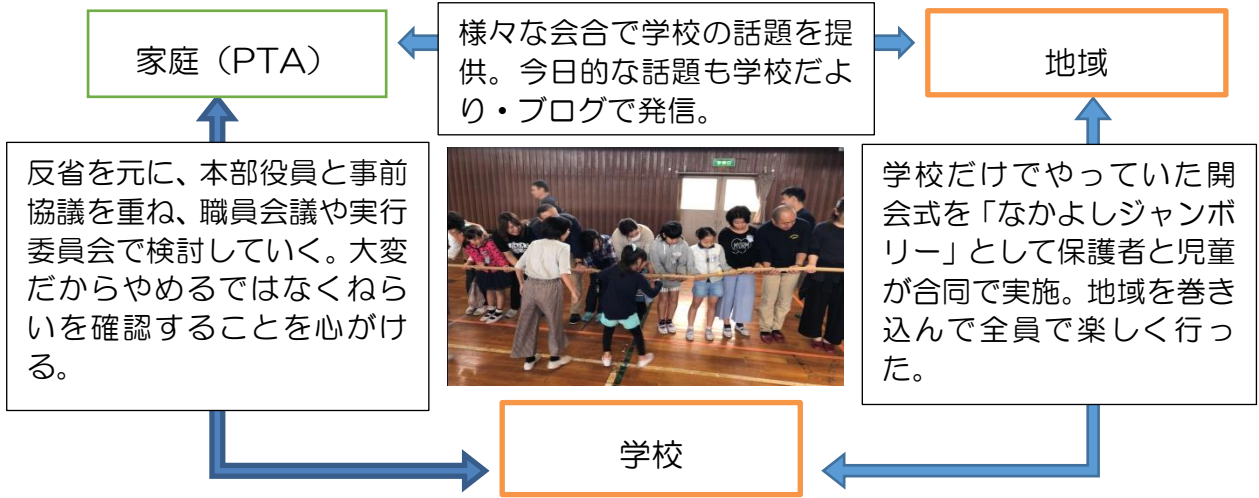
◇ 地域と学校の連携、  
地域への効果的な情  
報発信ができます。

◇ 児童生徒・教職員の社会教育  
活動への参加支援、教職員の  
現職教育の充実を図ること  
ができます。

◇ 授業・体験活動・奉仕活動・  
文化活動、その他の教育活  
動において地域の教育資源  
の活用ができます。

### 地域に信頼される学校づくりを目指して 足利市立東山小学校 村山 哲也

本校には、PTAと学校と地域が協力し合い地域の交流の場として始まった『なかよしジャンボリー』がある。午前には児童の縦割り班によるお店を出す「スマイルマーケット」を、お昼からPTAが学年ごとに飲食や模擬店を出す「らいでん横町」を実施し、地域の人に呼びかけて1日学校で交流をするというものである。有資格者の校長としては、地域に信頼される学校づくりという学校経営の面からも、伝統行事である『なかよしジャンボリー』が長く続けられるように以下のような働きかけをしてきた。



反省を元に、本部役員と事前協議を重ね、職員会議や実行委員会で検討していく。大変だからやめるではなくねらいを確認することを心がける。



学校だけでやっていた開会式を「なかよしジャンボリー」として保護者と児童が合同で実施。地域を巻き込んで全員で楽しく行った。

教育課程編成上、短時間で準備することが求められる。楽しい行事になるように、特別活動の視点から日頃より縦割り班の活動を充実させ、リーダー育成と共に自発的・自治的な活動になるようにサポートする。

## まずは、ゆるやかな地域連携推進から

佐野市立佐野小学校 宮澤 和巳

- 1 地域の方によるボランティア活動
  - ・読み聞かせサークル「フレッシュリーブス」と、城東中学校の生徒による定期的な朝の読み聞かせ。
  - ・佐野地区体育協会による、毎年卒業式を前にした体育館や周辺の整備や清掃。
  - ・交通安全ボランティアによる、朝の登校時の子どもたちの安全な登校の見届け。
  - ・3年生総合での地元ラーメン屋さんの「ラーメンづくり体験」。
  - ・6年生の総合での地元の茶道師範による「茶の湯体験」。
  - ・夏休み中の佐野東高校の生徒による学習支援。
- 2 教頭としての取り組み  
1年目は、地域連携教員を兼ねていましたが、前年度までの取り組みの調整役として継承したに過ぎませんでした。そして、2年目は教頭以外の教員を地域連携教員に指名し、支援するという立場に関わるようになりました。新たに指名した教員は、社会教育主事有資格者ではありませんが、育成会関係でも地域に携わっている強みを生かしつつ、積極的に研修にも参加し、そこで得た知識や情報を、本校の地域性に置き換え、今後の構想につなげていっているところです。
- 3 今後に向けて  
これから、地域に開かれた学校は必然です。そのためにも、もっと学校を知っていただくべく、例えば、校長の発行する「校長室便り」で、落ち葉掃きなどを『〇月〇日の〇時に玄関に集合』などと呼びかけ、その日来ていただいた方たちにご協力をいただく。登録というのではなく、都合のいいときにというようにゆるやかなお願いから、まずは取りかかっているのも一つの方法ではないかと思案しているところです。そしていずれは、地域の方にコーディネーターをお願いし、学校と地域との調整役を担っていただくことで、学校と地域が血の通ったつながりへとさらに発展させていきたいと考えております。

## 地域と連携した体験活動

足利市立富田中学校 小高 健治

**学校行事** 生徒92名の小規模校。各種学校行事をPTAの協力で実施しています。



「わたらせ物語」  
足利市の西から東(小俣戸張運動場～富田中学校)22.22kmをわたらせサイクリングロード沿いに歩く伝統行事。  
\*チェックポイント役員や交通指導、豚汁作り  
「運動会」「文化祭」では  
\*準備係や売店の企画運営、会場警備  
と、3年サイクルで実施している学校行事で、係として活動していただいています。

**土曜日授業** 足利市指定小規模特認校。年10回の土曜日授業を実施しています。



「防災ワークショップ」  
PTA役員・OBや教職員OB、市役所関係職員、社会福祉協議会職員による、各学年で地震・水害避難所をテーマとした実践的なワークショップ。  
「とみたのかるためぐり 南部編・北部編」  
1年生を対象とした、とみたのかるた編者と地域を巡る1年生恒例の地域活動。

その他にも「キャリア教育講演会(栃木県経済同友会)」「ソーラークッカー(足利大学出前授業)」「放射能について(日本原子力文化財団)」「消費者教室(足利税務署)」と、関係諸機関や大学から講師を招いて講話や体験活動を行っています。

**中学校区教育** 学校評議員会を始め、中学校区での取り組み。

今年度、「小中合同引き渡し訓練」を実施しました。そして三世代交流事業は「被爆体験伝承講話」を実施することができました。

保護者や地域の協力、そして関係諸機関の協力もあり、土曜日授業も含め様々な体験を実施することができ、ありがたく思っております。



## 定時制高校の地域貢献活動～30秒CM寄贈プロジェクト～

栃木県立足利工業高等学校定時制 井上 昌幸

本校の定時制に入学してくる生徒は、様々な理由により人間関係をうまく築くことができなかつたり、自己表現力が苦手だったりという状況が目につきます。

そこで、生徒たちの自己表現力の向上と自尊感情の醸成を目指して、地域の関係機関や企業を宣伝する、30秒間のCMを作成して寄贈するプロジェクトを開始しました。

実施においては足利市教育委員会生涯学習課と連携して、CM作成に協力いただける関係機関や企業の開拓を行い、本校の近くの「織姫公民館」のCMを作成することになりました。作成のプロセスは次のとおりです。

### (1) 職員による現地調査

生徒の主体的な活動が原則ですが、生徒の状況を考慮して、事前に職員が公民館の現地調査を行い、生徒の現地での活動が効果的なものとなるよう準備しました。

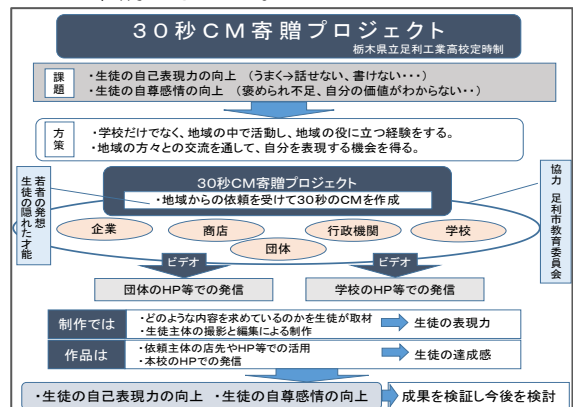
### (2) 生徒によるヒアリング調査

生徒の主体的な活動となるよう、事前に質問内容を準備して、公民館長への質問等を行い、どのようなCMが求められているかを調査しました。

### (3) 生徒による取材及び編集作業

ヒアリング調査の結果を受けて、どのようなCMの流れにするか、どのような画像が必要か等を整理しました。

この時点で新型コロナウイルスの関係で、取材活動は休止となっていますが、取材ができるようになったら、編集活動を再開します。



今回のプロジェクトを通して、生徒たちが地域の皆さんから褒められる体験を積んで、自尊感情の醸成に繋がっていただいていると思います。

## 子どもを中心にした交流活動の場「親と子のふれあい活動」

佐野市中央公民館 中塚 俊浩

子どもの心身の健全な成長を図り、親子の心の交流や絆を深めるために市内の保育園・幼稚園、小学校に通う5～8歳までの子どもと保護者を対象に年間を通して「親と子のふれあい活動」を実施しています。

アンケートからニーズを図り、楽しく意欲的に活動・制作できる講座(土・日開催)を企画し、年度当初に募集をしました。例年希望者が多いため、元年度は佐野市中央公民館、田沼中央公民館の2会場で同じ内容の講座を行いました。

他の園・学校の子どもたちとの交流や保護者の連携等が図れるよう名札を準備し、グループ活動を多く設定し、後片付け等のきまりも「活動の約束」として、親子やグループで協力して行っています。

元年度は、親子体操、お菓子作り、押し花万華鏡・ハーバリウム制作の講座を実施しました。

(11月からは、台風19号の被災により、中止としました。)

<アンケートより>

保護者:「想像以上にできがよくて感動しました。」「家ではレタスを全く食べないのに、大量に食べていたので驚きました。」等、子どもの成長に喜びが多く寄せられました。

子ども:「初めてでしたが、とても楽しくて、おうちでも作れそうです。」「万華鏡の仕組みを知ることができてよかったです。」等、興味・関心を持って取り組む様子が窺えます。さらに、「親子、グループで会話をしながら、とても楽しい時間でした。」など「仲間づくり」の輪も広がりました。

日頃、忙しい親子のふれあいや他の人たちの交流で多くの方が充実した時間を過ごしていました。次年度も魅力ある活動にしたいと考えています。

